

別府市公會堂

けふ盛んな竣工式

現代文化の粹を盡した

壯麗な一大殿堂

別府市公會堂の竣工式は既報の如く二十九日午前十一時半より同公會堂大ホールにて舉行、官民有志三百餘名列席、定刻神朝見八幡社司に依つて祭式を行ひ神澤市長、高崎市會長等玉串を奉典終つて置助役開式の挨拶を述べ、神澤市長の式辞、佐藤主任技師の工事報告、來賓知事代理伊藤内務部長高田大分市長等の祝辭ありて閉式夫より盛大なる宴會に入り午後一時午散會した

建築式

は鐵筋コン

新公會堂
は別府田ノ

湯上の宏大な廻生太吉氏の別邸の跡を買收建設したもので、林泉池庭の奥深く現代復興色を表微した建物は外観、設備ともに關西一と稱されてゐる、設計は遞信省技師吉田西郎氏の手になり昨年四月工費三十萬圓を以て起工し以來池田三比古、佐藤重蔵兩技師の監督で工事を進めたもので

建築式

は鐵筋コン

もつて構築され内部裝飾等も現代文化の粋を集めた美麗な一大殿堂である、更に設備を内蔵すると左の通り
の建坪三百五十七坪七合、總延坪九百四十三坪八合五匁、地下室及一階は何れも三百五十七坪四合、二階は二百十五坪、材料は悉く大阪、名古屋、東京より蒐集せるものである、正面大玄關入口の兩側に大理石の圓柱がそびえ立ち事務室、攬帶品預り場休憩室二ヶ所、二千人を收容し得る大講堂、舞臺、オーナメントラボックス、控室、非常階段等があり二階には大講堂、觀覽席、配膳室、休憩室、活動寫眞室、照明室等バルコニーには排氣扇突場、浴場、ト足預り所、休憩室、配膳室、料理場、俱樂部室、小使室、宿直室等がある